

2 木ま美第 1 9 号
令和 2 年 1 月 7 日

木津川市長 河井 規子 様

木津川市廃棄物減量等推進審議会
会 長 橋 本 征 二

家庭系可燃ごみ有料指定袋制度の収益を活用したごみ減量施策等
について（答申）

令和元年 5 月 2 7 日付け、1 木ま美第 2 0 1 号で諮問のありました標記の件
につきまして、下記のとおり今年度の審議結果を答申いたします。

記

1 財源活用事業の推進に関すること

① 市民提案型ごみ減量活動等補助金申請案件の審査について

令和元年 7 月 1 6 日付け 1 木ま美第 2 6 3 号「市民提案型ごみ減量活動等
補助金申請案件の審査の結果について」により、当審議会推進部会から報告の
とおり。

② ごみ減量活動等に関する表彰制度の応募案件に対する審査について

別紙 1 に記載の案件を「わが家のごみ減量アイデア大賞」にふさわしいと決
定したので、貴殿において表彰されたい。

2 継続的な点検・評価・改善に関すること

① 財源活用事業（先行実施分）の点検及び評価について

令和元年 1 2 月 1 0 日付け 1 木ま美第 3 8 9 号「財源活用事業（先行実施分）
の点検及び評価の結果について」により、当審議会評価部会から報告のとおり。

② 新たな財源活用事業のアイデアについて

当審議会において、別紙２に記載する事業の実施が必要と認めたので、早期の実施に向けて取り組まれない。

また、引き続き検討が必要と認めた事業をあわせて記載するので、当審議会事務局及び市担当課において、当審議会における今後の検討の視点を踏まえ、先進事例の調査研究並びに関連する資料の収集等に取り組み、令和２年度中に当審議会へ資料を提出されたい。

以上

別紙 1

「わが家のごみ減量アイデア大賞」 審査結果

番号	アイデア内容	応募者数
②-12	利用できるものは譲ったり、寄付したり、リサイクルショップを利用したりする。	2名
③-2	雑がみや古紙類を分別し、古紙回収に出す。	7名
④-9	野菜の皮・茎・種・ワタなどを調理、活用する。 (きんぴら、ポタージュ、ジャム)	6名

新たな財源活用事業のアイデア

1 実施が必要と認めた事業

事業名①	剪定枝粉碎機の無料貸出事業
目的 ・ 効果	家庭で剪定した枝等をチップ化し、資源として活用することで可燃ごみを減量するとともに、家庭の手数料負担を軽減する。
事業概要	電動の剪定枝粉碎機を無料で家庭まで配達し、剪定枝をチップ化して資源（庭のマルチング材や堆肥の材料等）として利用できるようにする。（可燃ごみとして排出される場合も、乾燥を促進することで減量に寄与する。）
実施にあたっての留意事項	
家庭における剪定枝等（苧草を含む。）の利活用に関するニーズを把握するとともに、ごみ減量の効果等を調査するため、試験的に実施することが望ましい。	

事業名②	環境保全指導員（仮称）の配置
目的 ・ 効果	可燃ごみ有料指定袋制に関する業務の専任職員（非常勤）を配置し、財源活用事業全般の推進や新たな事業の企画立案を加速させる。 また、指定袋の規格等の検証・改善にも取り組む。
事業概要	非常勤の職員として、環境カウンセラー等の実践経験を有する者をまち美化推進課内へ配置する。
実施にあたっての留意事項	
初年度は、一人週3日程度の勤務とし、以降は業務量に応じて適切な配置とすることが望ましい。	

2 引き続き検討が必要と認めた事業

事業名①	剪定枝等の堆肥化事業
目的 ・ 効果	剪定枝等を分別収集し、事業として堆肥化に取り組むことで、可燃ごみに含まれる剪定枝等の大幅な削減を図る。
事業概要	堆肥化施設を設置し、分別回収した剪定枝等を堆肥化する。
今後の検討の視点	
<ul style="list-style-type: none"> ○ 剪定枝等による燃焼効率への影響 ○ 堆肥化事業に要する経費等を踏まえた事業の採算性、及び事業効果 ○ 堆肥化施設の設置及び運用の方式 ○ 大阪府豊中市をはじめとした先進事例の調査研究 	

事業名②	電気式生ごみ処理容器購入補助金
目的	生ごみの減量に意欲はあるものの、ニオイ等の懸念からバイオ式生ごみ処理容器の導入に消極的な家庭に対し、新たな選択肢を用意することで生ごみの減量を促進する。
効果	
事業概要	電気式生ごみ処理容器の購入費を補助する。
今後の検討の視点	
<ul style="list-style-type: none"> ○ 温室効果ガスの排出を抑制する効果 ○ 電気式生ごみ処理容器からバイオ式生ごみ処理容器を補助対象とした経過と現状 	

事業名③	無料給水スポットの設置
目的	水道水の無料給水スポットを設置し、マイボトルの持参を推奨することでペットボトルの消費削減を図るとともに、飲料水の輸送に伴う温室効果ガスの削減を図る。
効果	また、熱中症予防等の健康増進効果も期待される。
事業概要	公共施設等へマイボトルへの給水が可能な給水器を設置する。
今後の検討の視点	
<ul style="list-style-type: none"> ○ 衛生面での安全性 ○ ごみ減量等への事業効果 	